

伊勢市人権尊重都市宣言

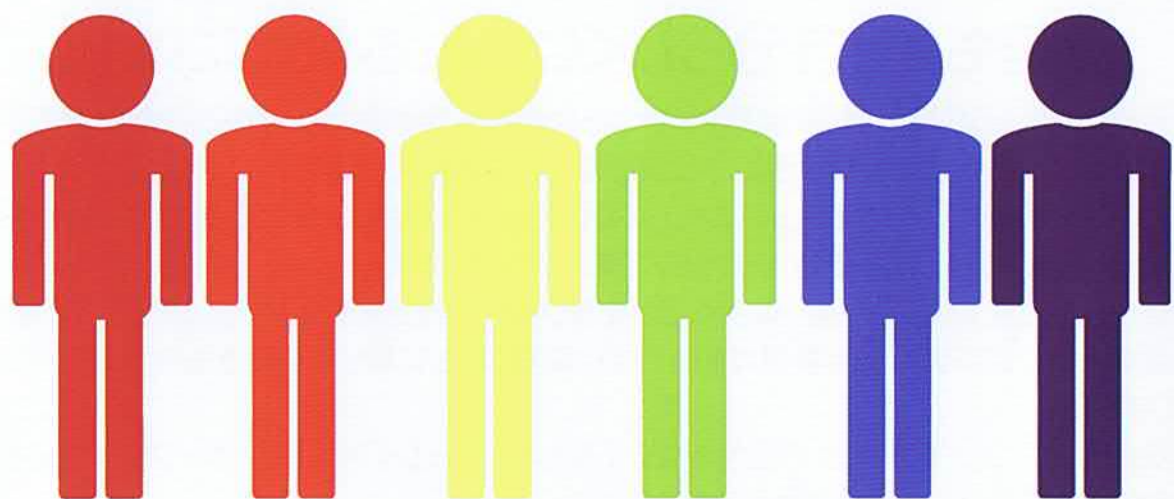
すべて国民は、日本国憲法のもと、基本的人権が保障され自由で平等な社会の実現を願っています。

しかしながら、現実の社会生活においては、今なお人権が侵害される事象が見受けられます。

今こそ、市民一人ひとりが人権尊重の精神に徹し、より豊かな人権感覚を身につけることが大切です。

よって私たちは、自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かで明るく住みよい地域社会を築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

平成18年7月11日 伊 勢 市



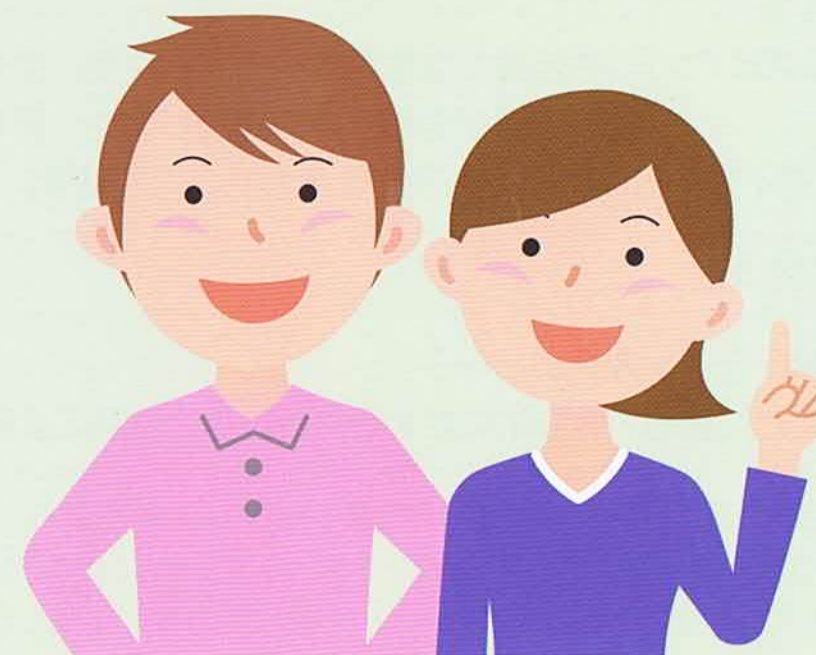
伊勢市人権施策推進協議会

事務局：伊勢市人権政策課 伊勢市岩淵1丁目7-29 0596-21-5546

みんなの 人権 ハンドブック

No.18

LGBT・性的少数者
～誰もが、自分らしくいられるために～



伊勢市・伊勢市人権施策推進協議会



LGBT・性的少数者

～誰もが、自分らしくいられるために～

何らかの意味で性的指向や性自認が非典型的である人、一般的には同性愛の人や自身の性別に違和感を覚える人のことを、性的少数派=セクシャル・マイノリティと称します。

これは、「異性愛が当然」、「生まれた時の性別どおりに生きることが当然」としてある社会からみて少数者という意味で、当事者の中にはこの表現に抵抗のある方もみえます。

そのため、近年「LGBT」という呼び方が用いられるようになってきました。



【LGBTとは】

Lesbian (レズビアン) (性自認が女性で性的指向も女性、女性同性愛者)

Gay (ゲイ) (性自認が男性で性的指向も男性、男性同性愛者)

Bisexual (バイセクシュアル) (性的指向が両性、両性愛者)

の3つの性的指向と

Transgender (トランスジェンダー)

出生時に法的・社会的に定められた自身の性別に違和感を持つ者

という1つの性自認を表す言葉の、それぞれの頭文字をつなげた略語です。

実際には、この3+1の枠には収めることができない多種多様な「性のあり方」が存在しますが、広く用いられている言葉ですので、このハンドブックでもこれにならい、性的少数者の総称をLGBTとして記述します。



【LGBTの現状】

LGBTについては、無理解・誤解から多くの差別や偏見が起きており、生きづらさを感じている当事者がたくさんみえます。

差別や偏見が生まれる原因には、「性」に対する考え方が固定的であるということが挙げられます。

- 社会には、男性と女性しかいない(2つの性しか存在しない)
- 男性も女性も、それぞれ異性を好きになるのが当然である
- それに合致しない人たちは、普通ではない

このような考え方が、現実的には世論の大部分を占めています。もちろん、これが誤りだというわけではありません。しかし、この考え方を他人に強要したり、賛同できないものを排除したりする行為がLGBTの人々を苦しめることとなります。

2015年に行われた調査(電通ダイバーシティ・ラボ調べ)によると日本国内全人口の7.6%、約13人に1人がLGBTであると発表されています。

これは、決して少ないとは言えない数字です。しかしながら「自分のまわりにはいない」「今まで会ったことがない」と思っている人が大半なのではないでしょうか。当事者の多くは、自身の性別の違和感や性的指向についての不安や戸惑いを、家族にさえも相談できず一人で抱え込んで孤立しています。

そして、私たちは当事者を無意識のうちに傷つけてしまっているかもしれません。

【誰もが、自分らしくいられるためには】

メディア等で、LGBTの認知度は高まりつつありますが、当事者は生活の様々な場面で不自由を感じており、未だ社会参加が困難な状況に置かれています。

この解消を目指して、同性のカップルを「結婚に相当する関係」と認める、いわゆる同性パートナーシップ制度を導入する自治体が、徐々に増えつつあります。

また一部の企業では、性的指向による差別を禁じる社内規定を設けたり、LGBT向けの就職説明会を開いたりするなど、当事者が働きやすい職場づくりに取り組む動きも徐々に広がり始めています。

施設の設備についても、男女の区別のない「みんなのトイレ」や、ジェンダーフリーの更衣スペースが公共施設を中心に整備されてきています。

こうした制度の導入や環境整備は確かに重要なことですが、本当に大切なのは、私たち一人ひとりが他者を認め思いやる精神を持つことにあります。

人間は、誰もが自分らしく生きていく権利を持っています。LGBTに対する正しい理解を持ち、全ての人々が「性」に関係なく、自分らしく生きていける社会、性の多様性を尊重する社会を作っていく必要があります。

それが、やさしさや思いやりにあふれる人権のまちづくりに繋がっていくのです。